

J. Sights Corporation

シトラス系果実・果汁の国際貿易市況

2023年3月10日

J サイト株式会社

島尾

USDA Foreign Agricultural Service (USDA 海外農務局)が 2023 年 1 月に発表したシトラス系果実の国際貿易市況レポートからそれぞれの概要を以下にまとめる。

1. グレープフルーツ

世界全体での生産量は、中国、メキシコ、トルコ、アメリカでの悪天候により昨対 2%減の 680 万トンと推定される。供給量の減少により、消費や加工用果実の量は減るが、一方で輸出量は横ばいとなる見通し。トルコでは霜の影響で 25%減産の 18 万 6000 トンとなり、最大の輸出相手は EU とロシアになる見込み。南アフリカでの生産量は 38 万 5000 トンと微増し、主な輸出国は中国と EU となる模様。

2. マンダリン、タンジェリン

2022-2023 年の全世界での生産量は 3660 万トンと予想。中国、モロッコ、トルコでの天候不良による減産が響き、昨対では 120 万トン減。特にモロッコでは熱ストレス、水不足、コスト増により昨対 34%減の 90 万トンに留まった。

一方好調なのは南アフリカで、輸出量が過去最高の 56 万トンに達する見通し。主な輸出先は EU で全体の 45%、次いでアメリカ、ロシア向けに各 10%前後。過去 7 年間大幅に増大してきた生産量だが、今後は EU やイギリスといった主要市場での経済成長の弱まりに伴う需要減や、コスト増、インフラ面での非効率性による収益率減少を背景に継続的な投資が制限されており、2022-2023 年の作付けは 1%増にとどまる見通し。とはいえ、同国では 5 年未満の果樹園が 50%以上を占めており、今後より高い生産性が期待できる。

3. オレンジ

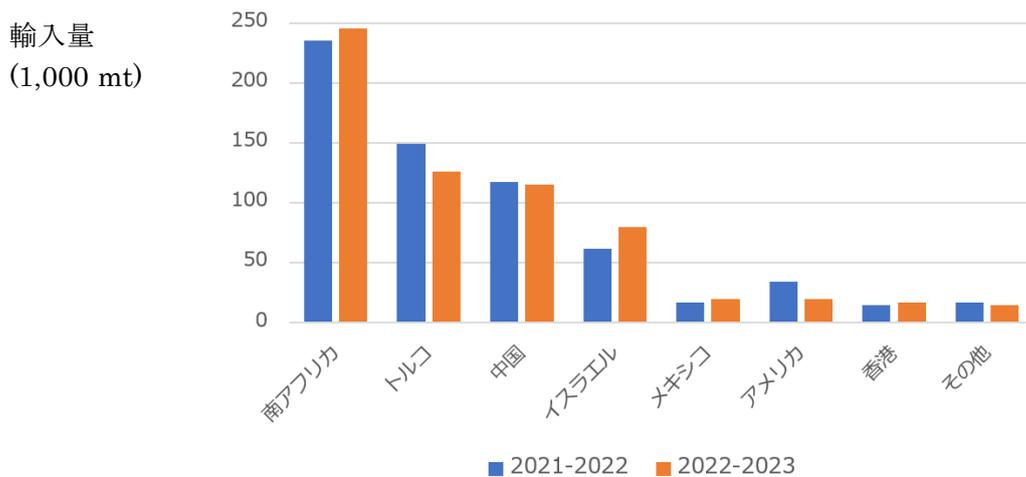
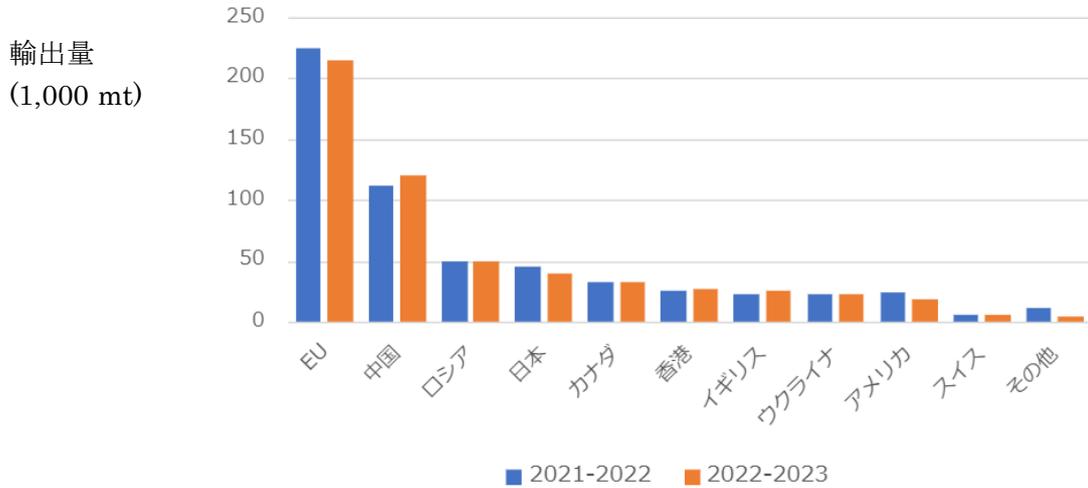
2022-2023 年の全世界での予想生産量は 4750 万トン。栽培面積拡大と、開花期の好天で着果が促進されたエジプトでは 60 万トン増の計 360 万トンと好調だが、EU では異常な乾燥と気温に見舞われ、アメリカ、特にフロリダではハリケーンの強風による落果が深刻で、全体では 5%減となる見通し。

4. オレンジ果汁

加工用オレンジが少なかったことによりブラジルでの生産量は 1%減少するものの、国内需要が堅調なため、消費量は増加する見込み。アメリカをはじめ過去 10 年で他国の生産量が下がる一方の中、ブラジルだけが好調を維持している。輸出量では 2022-2023 年の世界全体の 4 分の 3 をブラジルが占めている。

J. Sights Corporation

5. グレープフルーツ果実の各国の輸出・輸入量データ



6. まとめ

いずれのシトラス系果実も世界的な異常気象による減産や、それに伴う消費の減少はあるが、需要自体はおおよそ横ばいである。アフリカ地域特有のインフラに関わる課題はあるが、南アフリカの好調ぶりを見ると農地としてのポテンシャルはあることがわかる。

以上